



- ☆生き生きとした内川の子ども
- ・進んで学び、よく考える子ども
- ・思いやりのある、やさしい子ども
- ・元気で、たくましい子ども

# すてきな歌声をありがとう！



8月29日（木）、棚倉町文化センター（倉美館）において、平成25年度福島県下小・中学校音楽祭東白川地区大会が行われ、内川小学校も合唱の部（午前中）に参加しました。大会まで、多くの先生方の指導を受け、また、夏休みの暑い中での練習に耐え（3～6年生は陸上大会の練習の後に）、18名の心を一つに頑張ってきました。

本番では、全員が練習の成果を発揮し、100点満点の歌声で、たくさんの元気を聞いている人に与えることができました。

大会当日は多くの保護者の方も応援に来てくださいました。本当にありがとうございました。

曲名	「あしたは はれる」	指揮者	青砥 裕子	伴奏者	石井 彩子
----	------------	-----	-------	-----	-------

開会式：主催者あいさつ 大会会長 木村 敏夫（棚倉小校長）

- ドイツの指揮者 クルト・マズア の言葉
  - ・「音楽をつくろうとする強い意志が必要」。音楽は気持ち大切です。
- ★ 音楽は 喜びの友 悲しみの薬



平成25年度  
福島県小中学校音楽祭東白川地区大会

★ 優良賞  
内川小児童を代表し、6年の沼端里紗さんが、優良賞をいただきました。



## 3名の講師の方から講評をいただきました！（感謝）

- 小学生らしい元気100%の歌声でした。会場にみなさんの元気とパワーがしっかり届いていたと思います。みんなで一緒にステージに立ってるって本当に素晴らしいことですよね！時々、高い音など苦しそうなお時間もありましたが、のどをしっかりと開いて、お腹で声を支えられるように、先生と一緒に追求してみてください。
- 元気の良いハツラツとした声でした。みんな歌が好きなのでしょうね。好感がもてるとともに、子どもたち全員が歌が好きになるようご指導されている先生方の日頃の努力に敬意を表します。少し、アルトの声がよかったですので、人数を調整されるともっとバランスが良くなり、ハーモニーもききとりやすくなるでしょう。
- 元気いっぱい歌うことができましたね。元気がない時、みんなの歌声で吹き飛ばしてしまいそう！悲しいことやつらいことがあっても、周りにお友達がいる、一緒に声を合わせれば、きっとがんばれるはず。これからもお友達を大切に、歌ってってください。ありがとうございました。

### 閉会式：講評

- 1 声は楽器（姿勢も大切）
- 2 息が合っていることが大事（ジャンけんボンは「けん」が大事）  
「息」＝「自分の心」を合わせていく。合わせながら、自分の歌声が誰かの支えになっていることが大切。
- 3 自分でも考えて見ることも大事。この曲はどういう設計図なのか。自分のパートはメロディーなのかハーモニーなのか。
- 4 感謝してほしい。元気に生まれてきた。歌を歌える幸せ。支えてくれた先生方を含め多くの人に感謝する心を持つ。



## 命を守る 防災教育出前講座！

9月3日（火）5校時、県南建設事務所企画管理部管理課の近内様、本田様、根本様、棚倉土木事務所の中村様、大瀧様の5名の方々に来ていただき、「防災教育出前講座」を行いました。自然災害の恐ろしさを知り、身近な危険箇所や普段の心構えについて学ぶことが目的です。

### 1 ビデオ「土砂ものがたり（アニメ）」

○土石流の恐ろしさや「砂防ダム」「遊砂地」「水防林」「流路工」の役割を知ることができました。

### 2 パワーポイント「自然災害について」

○白河市や福島県で実際に起こった地震や水の災害の写真から災害の恐ろしさを知り、災害はいつでも、どこでも、誰にでもやってくることから、普段からの備えの大切さを知りました。

### 3 近内課長のお話

○8月30日からの「特別警報（ただちに命を守る行動をとってください）」についてお話していただき、大雨で特別警報が出たら、どんな行動をとるか具体的に説明していただきました。

① 家の近くに危険な箇所はあるのか理解する。危ないところはどこ？

② 土砂災害の危険有：1階よりは2階へ避難<縦への避難>※平屋の場合は山側でない部屋に移動

③ 大雨：小雨になるまで待ち、避難場所へ移動する<横への移動>

### 4 質問（7名の児童からいろいろな質問が出ました。2つだけ紹介します。）

①Q：内川で大雨のときに注意することは何ですか？

A：山あいには川、危険な地区が多いので、沢に「にごり水」が出てきたら危ないと思うこと。

②Q：災害の時は何番に電話すればいいの？

A：警察（110番）か矢祭町役場。

### 5 お礼の言葉（児童代表：6年 片野亜美さん）

※ 防災は日頃から考えることが大事なんです。ご家庭でも、家の近くに危険箇所はないのか、大雨や地震の時はどこに避難すればいいのかなど、確認するようにお願いいたします。

